

研究所 月報 2024.5

ChatGPT

就活に使用した学生は4人に1人

ChatGPTは、高度なAI技術によって人間のように自然な会話ができるAIチャットサービスです。

2022年11月に公開され、無料で利用できる革新的なサービスとして注目を集め、生成した文章の見事さや人間味のある回答がSNSなどで大きな話題となりました。

学情は、2025年3月卒業（修了）予定の大学生・大学院生が、ChatGPTをどのように捉えているかアンケートを実施しました。

調査結果によると、4人に1人が、就職活動で「ChatGPT」を使用したことがあると回答。

利用の目的として「ES作成を手伝ってもらった」「検索ワードが思い浮かばないときに活用している」「効率化しつつ、自己分析など自分で考えるべきことに時間を割きたい」などの回答が寄せられたということです。

今回の調査レポートには載っていませんでしたが、学生の就職活動における生成AI利用については、業界研究やエントリー先企業の絞り込みを行ったり、ChatGPTに模擬面接をしてもらおう、といった活用事例もあるようです。

タイムパフォーマンスを意識し、効率化できる部分は積極的にデジタル活用を行う、デジタルネイティブ世代らしい行動様式であると言えるでしょう。

今後企業側は、学生の生成AI利用を前提とした広報活動や選考プロセスの再設計、選考基準の設定等も考慮する必要があるかもしれません。

とはいえ、発展途上といえるChatGPTの課題は多くあります。

情報の正確性や信頼性、セキュリティやプライバシー、特定の業界やニッチなトピックスに関する理解・対応不足などについてはまだまだ不安な要素が多く、そのウィークポイントについても正しく理解することが重要といえます。



人事担当者が「リスキリングの必要性が高いと思う職種」

マイナビ「企業の雇用施策に関するレポート（2024年版）」が公表されました。この調査は、全国の民間企業等にて、中途採用業務のうち「採用費用の管理・運用」に携わっている人事担当者を対象に、雇用施策の導入傾向や今後の意向を明らかにすることを目的として行われたものです。

今回はその中から職種別の「リスキリング」についての調査結果を見ていきたいと思います。

■リスキリングを実施したことのある職種

1位	営業	35.6%
2位	管理・事務	28.7%
3位	企画・経営	27.1%

■これまで実施はないが今後リスキリングを予定・検討している職種

1位	企画・経営	15.7%
2位	管理・事務	13.4%
3位	営業	8.7%

■リスキリングの必要性が高いと思う職種

1位	営業	31.5%
2位	管理・事務	27.6%
3位	企画・経営	26.6%

■リスキリングの必要性が高いと思う職種に対して必要だと思う内容

1位	AIのプログラム開発・AIを用いたデータ分析能力	39.2%
2位	ビッグデータの分析・処理能力	38.7%
3位	デジタルスキルを応用したビジネス課題を設定・解決する能力	37.3%

今後企業は、社員の採用・定着のためにも、リスキリングも含めた教育訓練を、自社の事業における重点職種や採用の難しい職種を中心に推進することを考えていく必要があるようです。

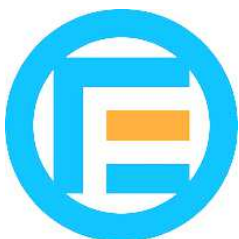
ひらたコラム

暖かくなって庭の草刈りをしていたときのこと、何だか丸いものが…。

たまごでした。鳥のたまごでしょうけど、誰のものでしょうか…。

草刈りを中止して調べてみると、どうやら「キジ」のようです。そういえばよく近所を歩いています。オスはよくクジャクと間違われるほどきらびやかで、メスは茶色くて地味な鳥ですね。「エーッ、エーッ（バサササ）」という鳴き声をよく耳にします。（バサササ）は羽ばたきなのですが、いまだ目撃したことはないののでどういう仕組みで鳴っているのか不明です。

いや、地面に産むのはやめた方がいいと思うよ…とアドバイスしたいのですが警戒心が強く、近くに寄ることは叶いません。変な鳥…。



発行／2024年4月26日 第144号
平研究所 代表・社会保険労務士 平田 さやか
733-0865 広島県広島市西区草津本町 9-18-201
TEL 082-530-2344 / FAX 082-553-0544
Mail info@tairaken95.com
URL http://tairaken95.com

